



「現場品質と職人問題を考えるセミナー」と 「第9回JCAブローイングピック」を開催

全国から断熱施工技術者が集結、知恵を共有し技を競い合う

2016年2月19日・20日、JCA（日本セルロースファイバー断熱施工協会 事務局：株式会社デコス 山口県下関市/代表取締役 安成信次）は、山口県下関市で「現場品質と職人問題を考えるセミナー」と「第9回JCAブローイングピック」を開催しました。



現場品質と職人問題を考えるセミナー



第9回JCAブローイングピック



セミナーには、関連会社を含め28社97名が参加。基調講演に新建新聞社・三浦社長をお招きし、「『正直』な家づくり～これからの住宅産業～」、次に実践報告として4社より「現場品質確保に向けた取組み」、最後にパネルディスカッションにて「理想の職人像・よい育成方法・よい現場品質アピール」をテーマに話し合いました。

セミナーの参加者からは、「これはもっと多くの建築関係者に聞かせるべき内容だ」「現在弊社が抱える問題解決のヒントを得た」「時間と根気がいるが、改善へ正直に取り組む会社しか生き残れない」など、気づきが得られたという声が多くありました。

翌日のブローイングピックでは、全国からデコス施工代理店21社64名が集い、30名のJCA認定住宅断熱施工技術者が普段現場で培った断熱施工の技術を競い合いました。

このブローイングピックは、新聞紙をリサイクルした綿状のセルロースファイバー断熱材を、不織布を張って壁パネルに乾式吹込み工法で吹込み、その断熱施工の技術力を評価し競い合うもの。今回の優勝者は、武蔵野技建・加瀬典行氏（東京）。加瀬氏は、第5回優勝と合わせブローイングピック史上初の2冠を達成しました。

ブローイングピック参加者からは、「同業他社の上手い人の作業を見る機会は貴重で、とても勉強になる」「審査委員長に自分の施工状況を見てもらい、フィードバックをもらえるだけで来る価値がある」「このような機会に参加するとモチベーションが上がる」などの声が聞かれました。

今後もJCAでは、建築物における断熱施工の現場品質の向上と信頼性確保に向け、知識の研鑽とより高い断熱施工技術の普及に努めるため幅広い活動を行います。

●JCA日本セルロースファイバー断熱施工協会 (事務局：株式会社デコス)



日本セルロースファイバー断熱施工協会とは、平成12年に設立されたセルロースファイバー断熱材の施工技術の確立と普及を図ることを目的とする企業の団体です。現在正会員70社。定例勉強会・ブローイングピック・経営者会議・総会などの各種勉強会や会議の他、心地よい家づくりに欠かせない断熱材に関する情報収集や共有を図っています。 <http://www.cf-eco.jp>
顧問：国立研究開発法人 建築研究所 理事長 坂本雄三
慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授 伊香賀俊治

株式会社デコスは、木質繊維系多機能断熱材「デコスファイバー」を製造する断熱材メーカー。隙間なく壁体内へ充填できる乾式吹込み工法「デコスドライ工法」を普及するデコスドライ工法施工代理店制度のFC本部としてJCA事務局を務め、断熱に関して会員内外問わず幅広い活動を行っています。

●現場品質と職人問題を考えるセミナー



セミナー状況



基調講演



パネルディスカッション

●JCAブローイングピック

全国のJCA認定住宅断熱施工技術者が技術を競い合う競技会。ブローイングとは「吹込み」のことで、ピックは「オリンピック」からの造語。デコス山口工場（山口県下関市/60Hz）と関東工場（埼玉県飯能市/50Hz）で毎年交互開催しています。

今回の採点基準は、①シート張り時間 ②シート見た目 ③ステープル本数 ④施工密度 ⑤密度均一さ ⑥障害物廻りの充填度合の6項目。これらを5段階評価で集計し、結果発表を行います。



ブローイングピック競技状況

順位	会社名(所在地)	氏名
優勝	武蔵野技建 (東京)	加瀬典行
第2位	株式会社ニシムラ (神奈川)	小関雄基
第3位	エコスタイルコーポレーション(株)(兵庫)	白箸宏司

第9回ブローイングピック結果

●お問合せ先

株式会社デコス 東京OFFICE 担当：田所憲一

〒103-0021東京都中央区日本橋本石町3-3-8日本橋優和ビル8F

TEL：03-3516-8056 Mobile：080-6408-4266 E-mail：k-tadokoro@decos.co.jp



<http://www.decos.co.jp>